



との間で、真の相互理解に基づく提携関係を発展させるよう努力してまいります。

最近、アジアの近隣諸国との関係に悪影響を及ぼしかねない事態が生じたことは、まことに遺憾なことであり、我が国との良好な関係の維持強化は、我が国との基本であり、この関係の発展を促すため、今後とも一層の努力を払う所存であります。また、中国との間においても、長期にわたり安定した相互協力関係の増進に引き続き意を用いてまいります。さらに、日欧関係の緊密化を図り、日米欧という共通の価値観を有する三者間の協力を強化いたしてまいります。

ソ連との間では、北方領土問題を解決して平和条約を締結し、相互に信頼し得る幅広い安定的な関係を確立することが我が国の不動の基本方針であります。本年一月、東京において八年ぶりに日ソ外相定期協議が行われ、領土問題を含む平和条約交渉が再開され、さらに、五月には、モスクワにおいてこれが継続され、定着したことが、また、私とゴルバチョフ書記長との間の相互訪問を含む政治対話の強化につき改めて合意を見たことは、真に有意義なことであると考えております。

（拍手）

現在、ゴルバチョフ書記長の早期訪日について、連日の間で折衝を進めておりますが、同書記長の訪日実現の際には、日ソの間に真の理解と友好の関係を構築するため、さきに述べた基本方針のつとめを粘り強く努力する所存であります。

世界経済は、米国の財政赤字、各国の経常収支不均衡、西欧諸国の依然として厳しい雇用情勢、そしてこれら背景を增大する保護主義的動きなど、引き続き多くの問題を抱えているほか、国際金融情勢や石油価格の動向など先行きの不透明さも存在しております。

このような状況に対して、さきの東京サミットで確認したように、インフレなき持続的経済成長の達成、為替レートの安定化などを目的とした各国間の政策協調を一層強化させることが必要であります。世界経済の一角を占める我が国として、

調和ある対外経済関係の形成に積極的に努力していくことが必要であります。

我が国の経常収支の黒字は、近年傾向的に増大し、かつて不均衡の水準に達しておりますが、このような大幅な対外不均衡の継続は、我が国の経済運営においてもまた、世界経済の調和ある発展という観点からも憂慮すべき事態であり、今後、これを是正するため、我が国の経済構造を国際社会と調和のとれたものに変革することが緊要な課題となっております。

このため、政府は、去る五月に経済構造調整推進要綱を策定し、内需拡大、国際的に調和のとれた産業構造への転換、市場アクセスの改善と製品輸入の促進、適切な国際通貨価値の安定、国際協力の推進等の諸施策を決定しました。先月、この要綱を一層強力に実施していくため、政府と与党経済構造調整推進本部を設け、私自身その本部長となつたところであり、今後とも、国際的に調和のとれた経済構造の実現のため、積極的に努力して行く考えであります。

閣僚会議が開催されますが、我が国は、保護主義を防

止し、二十一世紀に向けての多角的自由貿易体制を構築するため、この交渉の成功に全力を尽くす考えであります。

ドル高の修正など世界経済の枠組みが変化している中で、我が国経済については、物価は極めて安定している一方、景気は底がたさはあるもののその足取りは緩やかなものとなつており、また、製造業を中心に企業の業況判断には停滞感が広がっております。このような先行き楽観を許さない今日の経済情勢に対し、政府は、円レートの動向とその国内経済に及ぼす影響に周到な注意を払いつつ、適切かつ機動的な経済金融政策の運営に努めてまいります。

とりわけ、内需を中心とした景気の持続的拡大を確保するに当たっては、調和ある対外経済関係を形成するのと同様に、国民生活の向上を図るためにも緊要な課題であります。このため、行財政改革路線を堅持するとともに、基本方針のもとで、地方公共団体、府関係機関等と一体となつて、公共投資等の追加及び中小企業対策などの総合的な経済対策を早急に講ずることとしていたしております。

具体的には、まず、公共事業について引き続き施行の促進を図るとともに、災害復旧事業を追加的に実施するほか、国庫債務負担行為や財政融資の活用、地方単独事業の追加要請などにより、所要の事業費の追加を行う考えであります。

また、住宅投資を促進させるため、住宅金融公庫について融資制度の拡充、改善を図ります。

さらに、都市再開発、公共的施設の整備などに民間活力の活用を図るため、規制緩和、インセンティブの付与等をさらに進める考えであります。なお、民間活力の効果をさらに活用するため、今後、各界の御意見を十分聞くこととしていたしております。

円高は、原油価格の低下とともに、物価の安定等を通じて、我が国経済と国民生活に大きな利益をもたらすものであります。個人消費の促進を図るためにも、この円高等による差益の還元を円滑に進めることが重要であり、今後とも、指導、監視等の適切な措置を講じてまいります。

産業構造の国際化の流れの中で、円高などの厳しい環境変化に直面している中小企業等がこれに積極的に対応し得るよう、これまで低利の円高特別貸付、信用補完措置など、きめ細かな措置を講じてきたところであります。円高の一層の進展にかんがみ、これらの対策の拡充を図るとともに、業況が特に悪化している地域中小企業に対して、地域経済の活性化を図るためにも、総合的な支援策を講ずる考えであります。

また、雇用の安定を図るため、雇用調整助成金制度の拡充等を行う考えであります。政府は、今国会に昭和三十九年度補正予算及び関連法案を提出することといたします。

また、生産性の向上を中心とした農林水産業対策に一層努力するとともに、北洋漁業者の減船等に対する対策をも進めてまいります。

我が国において、二十一世紀の高齢化が急速に進行しておりますが、二十世紀初頭に到来する本格的な長寿社会において、経済社会の活力を維持しつつ、国民が長い人生を安心して生きていくことが、現在の経済社会システムを人生

八十年時代にふさわしいものに転換することは、国政上の重要な課題であります。

このため、政府は、去る六月に決定した長寿社会対策大綱に基づき、施策を総合的、積極的に推進することといたしております。まず、個人が生涯にわたりその能力や創造性を発揮することができるよう、高齢者の就業、社会参加等の活動を促進するとともに、労働時間の短縮により勤労世代の時間的余裕を高めてまいります。

また、給付と負担の両面において公平でかつ効率的な社会保障制度の確立、生涯を通じて健康な充実した生活の実現に努めるとともに、安全で住みよい居住環境の整備、地域の相互扶助機能の活性化と世代間の交流の促進を図つてまいります。

長寿社会にふさわしい高齢者の保健医療制度を確立するため、老人保健制度を幅広い観点から見直す改正法案については、今国会に再提出し、その速やかな成立を期する考えであります。また、がんに対しては、その制圧を図るため、対がん十カ年総合戦略に基づき、総合的かつ重点的に施策を推進してきており、ヒトゲノムプロジェクトやヒトゲノム発見等の成果が上りつつありますが、今後ともがんの本態解明等に全力を尽くしてまいります。さらに、難病の克服にも万全の努力を払つてまいります。

一方、人口の高齢化に加え、国際化や技術革新、情報化の急速な進展など、二十一世紀に向けて、人と国土をめぐる諸情勢は大きく変わる予感が予想されます。これらの潮流変化に的確に対応しながら、安全で快適な生活環境を確保し、国土づくりを進め、次の世代に引き継ぐことは、我々の責務であり、次の世代にそのための準備を、まず、住民が誇りと愛着の持てる個性に満ちたふるさとづくりを進め、地震や災害に強く、治安が確保され、花と緑に満ち、安全で潤いのある、歴史の薫りにあふれた国土づくりを進める必要があり、歴史を世界に開かれた文化、科学、経済等の交流の場としてふさわしいものに質的に高めるとともに、情報通信及び高速交通体系の整備、都市の再開発等による東京、大阪などの大都市圏の整備、生活関連社会資本の整備などを民間活力を最大限に活用しつつ推進する必要があります。その際、特に大都市圏における地価の安定等の土地問題に的確に対応することが重要であります。

政府は、これらの課題に対して、第四次全国総合開発計画を策定し、二十一世紀に向けた国土づくりの指針を明らかにする所存であります。

二十一世紀は、今や目前に迫ってきております。二十一世紀に成人となる子供たちが、既に八百万人余にも達しております。この子供たちが、日本人として生まれ育ち、生きていくことに心から喜びを持って、よく、活気に満ちた、よりよい日本をつくり上げ、これを彼らに引き渡すため働くことは、我々の世代の最大の使命であり、悲願であります。

（拍手）

戦後の歴史の流れの中で、我が国にとつての最も大きな変化は、その国際的立場が大きく変わったこととあります。日本が真の意味で、国際社会の有力な一員として生きていくためには、これからのような、世界が平和と繁栄のややもすれば、これらの受益者となり、

受け、国際社会に積極的に貢献していかなければなりません。世界の中の日本から、世界とともにある日本、さらには世界に貢献する日本として、世界の平和と繁栄に責任を持つ日本を築いていくことこそ、国際国家日本の実現の真の意味であり、（拍手）

このためにも、我々がまず日本自体を正確に知り、その正確な日本を外国に知らせる必要があります。また、近年の日本の発展は世界の注目するところであり、各国は、日本からの文化の発信を強く待望しております。政府は、この期待にこたえるためにも、国際的視野に立って日本文化を研究するセンターの設立に努力してまいります。

国際政治は、米ソ首脳会談の開催を機に平和の確立に向けて新しい胎動を始めており、世界経済は、各国間の政策協調のもとでさらなる飛躍を目指して新しいシステムを模索しております。科学技術は、大型化、大量化から、多様化、情報化、人間との調和へと進歩の方向を変えております。今や世界も日本も歴史的な大転換期を迎え、人類は、新しい文明時代の幕をあけようとしております。

（拍手）

日本の進路は、情報化、長寿化、国際化等への前人未踏の道であります。我々は、今や発想と展望を新たにし、雄渾な構想のもとに、二十一世紀にかけての日本社会の新しい設計書を確定し、その実現に全力を傾けなければならぬと信じます。

（拍手）

このためには、経済も社会も、そして政治も、日本全体がエネルギーと英知にあふれた若返りを進めることが必要であります。さきの国政選挙を通じて、政治が先頭に立つて世代交代を進めようとしたゆえんも、またそこにはあります。

（拍手）

政府は、この歴史的な挑戦に向けて、着実に政策の歩みを進めてまいります。我々は、未来の歴史家が、現代の日本を単に平和と繁栄の時代として語るのみでなく、二十一世紀に向けてよりよき日本を創造するたため、民族の英知と活力を傾倒した時代であったと語るようにしようではありませんか。

（拍手）

重ねて国民の皆様への御理解と御協力をお願いする次第であります。

（拍手）

○谷垣禎一君 国務大臣の演説に対する質疑は延期し、来る十六日午後一時から本会議を開きこれを行われることを望みます。

○議長（原健三郎君） 谷垣禎一君の動議に御異議ございませんか。

○議長（原健三郎君） 御異議なしと認めます。よって、動議のとおり決しました。

◇

○議長（原健三郎君） 御異議なしと認めます。よって、

国立国会図書館の館長の任命承認の件

○議長（原健三郎君） お諮りいたします。

国立国会図書館の館長に指宿清秀君を両議院の議長に任命するに御異議ございませんか。指宿清秀君の任命を承認するに御異議ございませんか。

○議長（原健三郎君） 御異議なしと認めます。よって、

○議長（原健三郎君） 御異議なしと認めます。よって、

承認するに決しました。



○議長（原健三郎君） 本日は、これにて散会いたします。

午後三時三十七分散会